



多職種による包括的なケア介入で
排尿自立を支える!



退院後の生活につなげる 継続的な排尿ケアの実践

トラブルを未然に防ぎスムーズな退院を
可能にするケアのポイントが分かる!

※講義時間:170分

吉川羊子氏

小牧市民病院 泌尿器科 排尿ケアセンター
部長/医師

1987年名古屋大学医学部卒業、1988年に同泌尿器科学教室に入局。市中総合病院勤務を経て1999年より名古屋大学に帰局し、排尿障害症例の診療や排尿管理の教育・啓発に携わる。2008年より現職。2002年からは認定NPO愛知排泄ケア研究会の発足・運営に従事し、同理事を務める。現場での適切な排泄ケアを実践するための教育活動や専門スタッフの養成を継続して行っている。NPO日本トイレ研究所アドバイザー。

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間

申込2~3日後から視聴できます。

受講料
(税・送料込)

一般 13,000円 会員 10,000円

※教材:PDFテキスト付(ダウンロード、プリントアウト可)
冊子テキスト(26頁)ご希望の方は別途1,500円

プログラム

1. 排尿自立支援に欠かせない排尿障害の理解
2. 排尿自立度・下部尿路機能の評価と排尿日誌の活用
 - 1) 支援・指導が必要な対象症例の抽出方法
 - 2) 看護師による観察・情報収集のポイント
 - 3) 排尿日誌の作成・記入方法と残尿測定の実施
3. トラブルを未然に防ぐカテーテル管理と抜去後のケア
 - 1) カテーテルの種類とそれぞれのメリット・デメリット
 - 2) カテーテル関連尿路感染への対応
 - 3) 一日でも早く抜去するための視点
 - 4) カテーテル抜去後の適切な排泄方法の検討・排尿自立支援
4. もう悩まない!導尿の知っておきたい実践知識
 - 1) 悩みがちな導尿のタイミング・間隔のポイント
 - 2) 排尿自立につながる間欠導尿の実践
 - 3) 残尿増加が認められた場合の対応
 - 4) 退院後を見据えた自己導尿指導
 - 5) 間欠導尿管理のスキルを高める院内研修
5. チーム・多職種による包括的な排尿ケアの実践
 - 1) 包括的排尿ケアのマトリックス
 - 2) 入院当初の介入開始
 - 3) 退院後を見据えた入退院支援部門との連携
 - 4) 排尿ケアチームと病棟スタッフの共同による介入
 - 5) チームと病棟スタッフによる回診/カンファレンス
6. 事例で学ぶ 排尿ケア・支援のポイント
 - 1) 入院における排尿ケア・支援事例
 - 2) 外来における排尿ケア・支援事例

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから▶

日総研 17640

検索

関連雑誌

現場実務のスキルアップ!

地域包括ケアを多職種で実現!

地域連携
入退院と在宅支援

Web教材+実務専門誌(定期刊行物・会員制)

今後の特集

- 総力特集
退院後の生活に問題や不安がある患者への支援 [9-10月号]
- ALS等神経難病患者・家族を支援する連携体制整備 [11-12月号]
- 終末期がん患者の在宅移行と療養生活を支える支援・連携 [11-12月号]

A4変型判 96頁
入会金 3,000円
年間購読料 33,540円
追加1セットにつき
プラス8,380円(共に税込)
複数セット購読の場合は
入会金免除

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰



日総研 接遇大賞

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を
Webで公開中

接遇大賞

検索

国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

精神保健福祉士養成所 通信課程

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索